



COMPANY PROFILE

# ワンテールは命の未来にイノベーションを起こす会社です。 テーマは、大きな枠組みで備えて、予測して、経験をアップデートする。



ローカルベンチャー  
ビジネスで復興を牽引 被災地から生まれた「世界初の備蓄食」  
島田 昌幸(ワンテール 代表取締役CEO)

★ブックマーク 1 | いいね! 32 | シェア | Bookmark 8 | ツイート

水・電気・ガスがなくても食べることが可能で、5年間備蓄できる「防災ゼリー」。「世界初」という防災ゼリー食品を開発したのは、宮城を拠点にするワンテールだ。同社はビジネスによって被災地を復興し、2020年に上場することを目指す。



島田 昌幸(ワンテール 代表取締役CEO)

仙台市がパートナー就任 (12/10)  
(被災経験・知見の提供、介護福祉分野への展開)

## 防災宇宙食開発に協力 仙台市 被災経験提供、実験支援

Wanteerと仙台市が防災宇宙食の開発に協力し、被災経験の提供と実験支援を行っている。



Wanteerは、仙台市と協力して防災宇宙食の開発を進めている。被災地の経験と知見を参考に、防災宇宙食の開発を進めている。また、仙台市の防災対策にも貢献している。



## 読者新聞

ニュース

本コーナーは、「PR TIMES」から提供を受けた企業・団体などのニュースリリース（報道機関向け発表資料）を、原文のまま掲載しています。読者新聞が、掲載している製品やサービスの購入や利用を推奨したり、その品質・内容を保証したりするものではありません。本コーナーの内容及削除に関するお問い合わせは「PR TIMES」まで、直接ご連絡ください。

株式会社ワンテール  
3.11の極限状態を教訓に生まれた「5年保存備蓄食」 防災ゼリー『LIFE STOCK』先行発売

開発経緯5年、充填技術「TOKINAX」により長期保存を実現9月1日は防災の日。美味しさと栄養が両立した世界初のゼリー型備蓄食  
株式会社ワンテール(宮城県多賀城市八幡字一本町117-8 代表取締役: 島田 昌幸)以下ワンテール)は、東日本大震災の経験を未来につなげるため、「あのとき、ほんとうに欲しかったもの」を追求し続けて、ゼリー型の新しい備蓄食「LIFE STOCK」を開発しました。9月1日(日)よりクラウドファンディングサイトMakuakeを通じて「LIFE STOCK」の発売を開始致します。



CEO  
島田 昌幸

株式会社ファミリア 代表取締役  
株式会社ワンテール 代表取締役

大学在学中に教育ベンチャーを創業。2007年から国土交通省認定の観光地域プロデューサーとして活動し、数々の地域プロデュースを手がける。企業のイベント、商品・サービス開発、事業開発などのプロデュースも多数手がけ、食の商業施設ATALATA、shichi no resortをプロデュース・運営を行う。2011年には日本CSR大賞準グランプリを受賞。



日本経済新聞  
2019年9月11日(水)

宮城のワンテール、5年半保存できるゼリー発売  
サービス・食品 北海道・東北  
2019/9/3 18:49

防災備蓄食を手掛けるワンテール(宮城県多賀城市)は長期保存できる防災ゼリー「LIFE STOCK」を発売した。常温で5年半保存できるのが特徴。ゼリーは乳児や高齢者でも口にしやすい。災害時の避難所など向けに売り込む。

充填やレシビなどを工夫し、ゼリーの長期保存を実現した。災害直後のストレスで消費したエネルギーを補給するブドウや洋なし味の「エナジータイプ」と、避難所生活での健康維持を目的としたリンゴ味などの「ランスタイプ」2種類を用意した。

ゼリーはクラウドファンディングサイトで販売する。エナジータイプ9個、ランスタイプ9個入りなどのセット販売で、価格はそれぞれ税込み2000円から。

東日本大震災では、避難所では乾パンなどの避難食を中心に提供された。ただ、かむ力が弱い乳児や高齢者は食べにくいうえ、飲み水不足にもかかわらず食べると水が飲まなくなってしまうも難点だった。

備蓄用食品の開発

乳児対応

地域コミュニティの問題

あのとき、本当にほしかったもの。

高齢者対応

障がい者対応

水を必要としない備蓄食  
次世代につなぐ社会システム・プロダクト

風化問題  
単調な防災  
訓練

ハラル対応



震災発生

発生1週間後

避難所10ヶ月

仮設住宅3年間

ユニバーサルデザイン  
点字対応

アレルギー  
対応

一時的に水がなくなる  
電気がつかなくなる

生活環境が悪化する  
衛生環境が悪化する

栄養バランスが崩れる  
ストレス&便秘

個別の生活で  
栄養問題が露呈

ゴミ・臭気  
問題

段ボールデザイン

水がなくても  
も摂取できるもの

備蓄基準

消費期限後  
利活用課題

備蓄スペース  
問題

**この国の災害は毎年おこるもの。阪神淡路大震災を契機に災害に関する意識が高まったものの、社会システムや仕組み、乾パンなど100年間変わらない現状。**

**また、日本の災害は地震・津波だけでなく、台風・噴火・河川の氾濫・雪害・熱波など多くの種類の災害があります。**

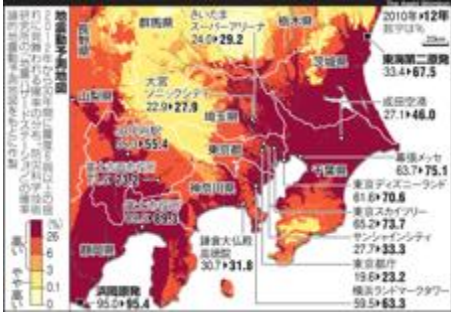
**東日本大震災を契機に、防災産業の創造を通じて日本を強くします。**



# 宇宙技術×防災による東北発防災産業創出プロジェクト

## 想定されている災害リスク

### 首都圏直下型地震



### 南海トラフ地震



## 想定外の災害リスク

### 西日本豪雨・熊本地震 等



## 高まる社会ニーズ

### インバウンド・ハラール対応



### 障がい者対応



### バリアフリー対応



### 食物アレルギー対応



## これまでの災害の教訓

- ・ トイレ問題
- ・ 着替え問題
- ・ お風呂問題
- ・ 情報錯綜問題
- ・ 物資物量問題
- ・ パーソナルスペース問題
- ・ 復興住宅ストレス問題



- ・ そもそも備えていなかった
- ・ 備えていたものが役に立たなかった
- ・ どこに逃げたらいいのかわからなかった
- ・ 食べる物がなかった

## 防災新市場規模

(日本)

自治体

2,325億円

企業

住民

2者の強みを活かしたパートナーシップ

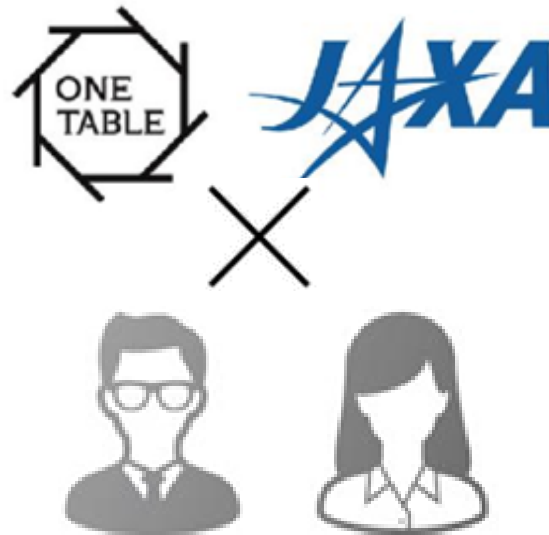


# BOSAI SPACE FOOD PROJECT

災害地域と宇宙、それぞれ知見を活かした  
”極限環境”における食の開発へ。



後援：経済産業省

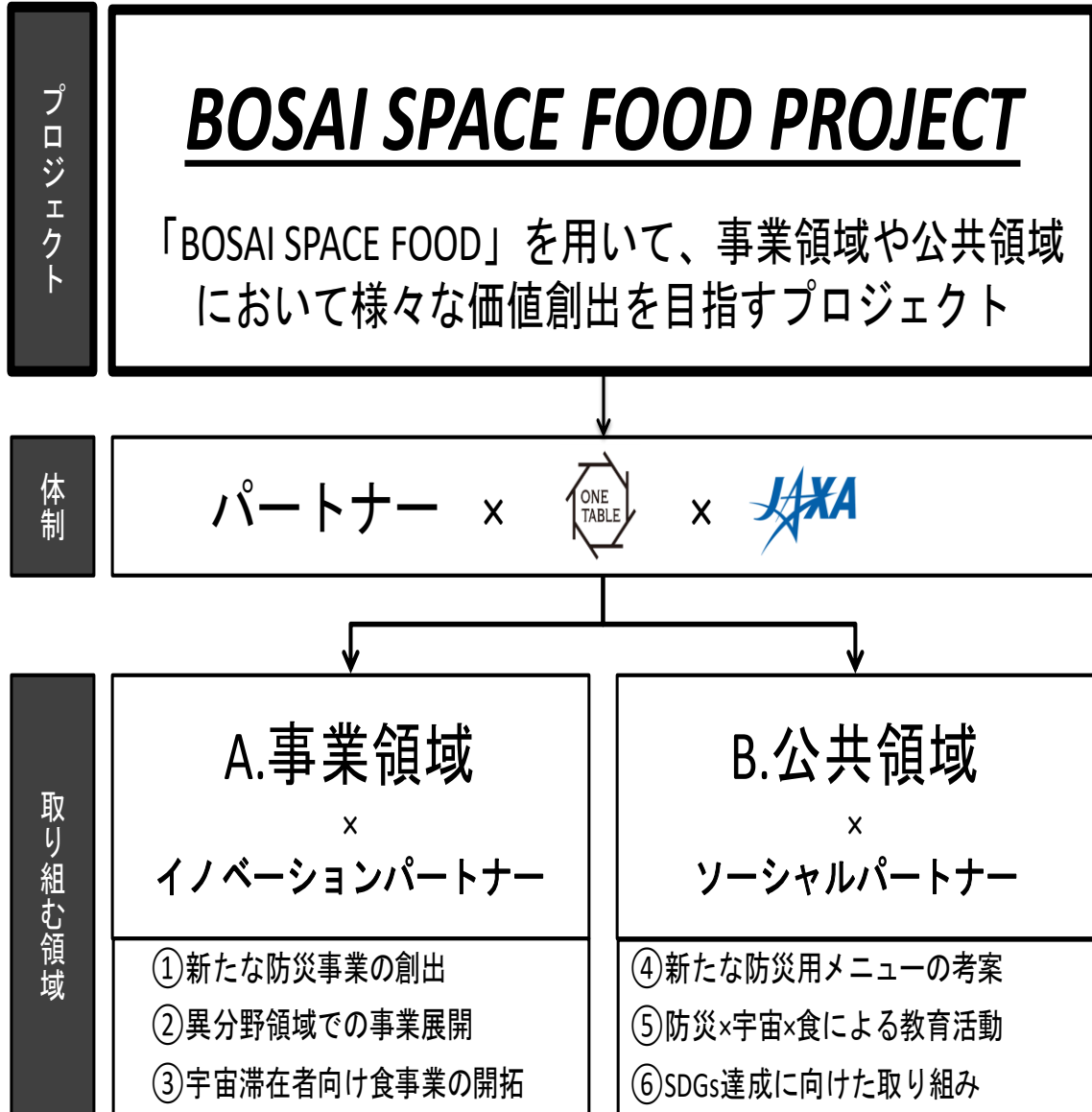


パートナー



2019年5月、デュアルユースなフィリング工場が竣工。  
アジアの防災拠点としても活用

被災地と宇宙、それぞれの知見を活かした“極限環境での食”の開発へ



## 災害時と、宇宙の環境は、よく似ている

✓閉ざされたストレスフルな空間で長期間を過ごす「極限状態」  
✓災害時の課題は宇宙での課題に類似。




閉鎖性  
ストレスフル

災害時  
宇宙

健康問題  
栄養不足

限りある水

世界から支援を受けた東北が未来志向によって世界貢献ができる力強い復興を創造

SDGs  
貢献目標





# オリジナルパッケージや医療・健康・美容・お土産などに転用





# 会社概要

会社名 : 株式会社ワンテーブル

(英文表記) : ONETABLE Inc.

代表取締役 : 島田 昌幸

資本金 : 85,000,000円

資本準備金 : 60,000,000円

設立年月日 : 2016年11月11日

住所 : 〒985-0874 宮城県多賀城市八幡一本柳117番地の8

電話番号 : 022-355-6696

FAX : 022-796-4215

ワンテーブル100%子会社

ONETABLE LIFE PLANNING Inc.

株式会社ワンテーブル・ライフプランニング

事業概要 : 建築・ホテル運営・飲食店運営・食品加工施設運営受託事業

特定建設業許可証: (特-30 第20984)

一級建築士事務所登録:(第17610078)

宅地建物取引業 : 宮城県知事 (1) 第6397号

## 主要株主一覧 (2019年10月時点)



日本政策投資銀行

読売新聞



MAGNET Inc.



L o c a l F i r s t

ローカルファーストが

地域を再生する。



共創しよう。  
私たちは未来を変えられる